(一)　昭和32年6月12日（水曜日）　第2134号　常磐毎日新聞　（昭和30年1月22日 第三種郵便物認可）　夕刊　（日曜、祭日休刊）

常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
営業部専用 1、210
編集部 1、269

本院 平市二の二九（本町通り）（午前）電話（平）三五五
分院 湯本駅前 天王崎（午後）電話（常磐）四〇一
カノウタ
日産婦人科

もめる二つの土地争い

勿来と平

既報、田植時を迎えた石城地方には深刻な土地争いが起り関係者はその対策に頭を悩している問題が平市と勿来市にある。平市の場合は暴力沙汰にまで発展、田植をした田の中へ牛を入れて踏み荒すなど暴力まで加えたいやがらせ、また一方勿来市は裁判所の立入禁止の立札を投げ棄ててしまうなど乱暴ぶりである。

植付けした田の中に牛を引き入れて荒し廻る

昨年十二月十五日県教育委員会事務局学校教育課より当四倉高校の水産科は昭和三十二年度より募集を停止家庭科一学級を増募すべきことを提案されたが、当校水産科の存廃問題として極めて重大であると種々の対策を講じた結果、緊急役員会を開き、県当局に存置方を要望、再三にわたつて陳情したため本年（三十二年度）の水産科生徒の募集を認めた、但し現在の実習工場は本年度中に本校敷地内に移転することを条件で存置が決定され、今後の施設々備を充実して水産製造科としての教育の完璧を図ることになつたが、この実習室移転について十日午後から町議会で協議した結果、調査、研究するため文教厚生委員会に附託された。

水田、畑など約六反歩の農地をめぐつて一と荒れした平市豊間小作人石山朝一郎さん（三）と磐城市江名佐藤鶴松さんの争いはさきに平農地事務所で、これは不在地主であるから来年三月限が買上げるということで一段落した形となつていた、しかし石山さんは今年の田植は現在耕作をしている自分に権利があるという見解から近所の農家の手伝を受けて田植をはじめたが、ところが十一日朝、佐藤さんから石山さんの前に農地を借りていた近藤清信（三）さんが地主に頼まれてきたといつて折角田植したばかりの水田に牛を入れてめちやめちやにしてしまつた。

このため一段落ついたかに見えた土地争は再燃して成行きが注目されている。なお平署では

さきに人を使つて作物を引きぬかせた磐城市江名漁業佐藤鶴松さんに対しては器物破損の疑で告訴類送検をしているが、農地のお目付役平農地事務所はこの田畑の始末は農地法通り来年の三月には買上げる、それまでは地主と小作人とが話合つて田植をするべきだと答えている。

仮処分の立札も抜き取つて投げる

もう一つは勿来市田町農業竹原周道さん（六）が地主の同町瀬戸物商長谷川安一さん（三）に借りていた田を勝手に取り上げられたことから竹原さんが地主の不当な取上げに対抗して立入禁止の仮処分を申請した。ところが長谷川さんがこれでは不服だと平簡易裁判所で建てた立札を引抜き五十米はなれた他人の田の中に棄ててしまつたというもので仮処分命令の出た立入禁止の水田に田植をされた竹原さんは平簡易裁判所にこのことを届け出ているが、平農地事務所でもこれは明らかに農地法違反であるとみており、問題は同所の手から離れて刑事問題に発展することになつた。なお勿来署では裁判所の執達吏から封印破棄か器物キ棄の告発があり次第地主をまた取調べるといつている。

実習工場の移転

四倉高校で町に陳情

四倉高校では昨日十日午前八時半ころ四倉町役場に太田校長、PTA佐藤会長らが訪づれ、現在四倉小学校西部にある一棟二十六坪の四倉高校水産製造科実習工場の移転についての陳情書を町当局と議会に提出した。

この陳情書に依ると実習工場は去る昭和二十七年から同二十九年まで三カ年間、産業教育振興

兒童の半數患う

流感 常磐市内で猛威

石城地方に発生した流感は小川町湯本一小（生徒数千四百九十五名）では三十七名が欠席、四十名が早退、二百七十名が患者、湯本三小（生徒数千四百六十五名）で百十六名が欠席、六十一名が早退、三百七十八が患者、高倉小校（生徒数千三百九十八名）では四十一名欠席、十八名早退、百六十六名患者、湯本二中（生徒数千二十一名）で四十八名欠席、十四名早退、百三十四名の患者をそれぞれ出しているので湯本一小、三小の両校も一両日の発生状況をみて臨時休校に入る模様である。

一方平市内の各校では市に比べてその発生率も少いが、磐女校（生徒数千三百五十名）では生徒の早退、欠席が激しく増加しており、十一日になつて百十名が欠席、四十名が早退しているため校医などとその措置について協議しているが、校内に蔓延の恐れがある場合に於ては一部または臨時休校という措置をとることになる模様である。

なお平保健所ではさきに到着した二千人分のワクチンを各市町村に配布したほか、管内各、小中高校に対して罹患児童生徒に無理をさせて出席させぬよう、蔓延の恐れがあるときはすぐ休校または出席停止の措置をとるよう指令した。

飯島通産技官ら きょう常磐地区視察

既報、通産省は国内の資源を開発して産業の振興をはかるため阪神京浜など四大工業地帯についで全国から二十の特定工業地帯を指定することになり、月末か七月早々には三地帯を指定することになつている。このため同省、経済企画庁などでは常磐地帯の主な工場産業立地条件などを調査して来年度予算の資料とするため通産省飯島技官、島谷、平松事務官、経済企画庁開発部小林技官が十二日から来磐して視察を行うことになつていたが、日程が次の通り決つた。

▽十二日＝平市役所、古河好間炭砿、大阪造船平製鋼所、平地区産業立地調査（天然ガス地点工業用地）▽十三日＝四倉町役場で八茎鉱山について事情を聴取する、磐城セメント、内郷市役所、内郷地区産業立地調査（工業用地その他）常磐市役所、常磐炭砿、品川白煉瓦、地区産業立地調査、内郷、常磐開発とん談会▽十四日＝磐城市役所、磐城地区産業立地調査（小名浜港、工業用地、天然ガス）新日本化学、日本水素、地区開発とん談会▽十五日＝勿来市役所、勿来地区産業立地調査（火力発電所、天然ガス、工業用地）呉羽化学、勿来地区開発とん談会最後に勿来市役所で常磐地帯（総括）開発の検討会を開く。

四倉の農業委員選挙

四倉町では農業委員会法改正に伴う措置について十日町議会で協議した結果、合併に依つて一本化して、大野地区六名、大浦地区七名、四倉地区二名計十五名を来る七月中旬までに選挙に依つて決定するが、今回のみは小選挙区で行い、次回からは大選挙区で行うことになつた。この農業委員会の任期は来月（七月）十九日までで、十五名の委員が選挙に依つて選ばれるが、うち九名（十五名）は吉田町長の推薦で、各地区農協理事六名と学識経験者各地区から一名ずつ三名を選ぶことになり各地区毎に選挙するが、地区の有権者数は四倉地区七百十七名、大浦地区二千百六十一名、大野地区一千九百六十五名である。

小川と遠野モデル町村に

新市町村建設法で小川町が施設選野が調整のモデル町村に指定されたときよう十二日県から通知があつた。

これは三十二年度のモデル町村として小川町が構築の施設さらに各部落を連絡するジープの購入費のうち国から百七十万円の補助が決定したもので、このジープによつて徴税の強化、広報活動さらに緊急時の使用など合併した当時の新市町村建設計画のなかに織込まれたもの、また遠野町は調整のモデル町に指定になつたが、これは経済、気候風土などあらゆる角度から町を詳細に調べ五カ年計画で新しい町をつくり上げようとするもので国庫補助十五万円が決定したもの。

平駅待合で自殺を図る

十二日午前十時ごろ双葉郡大熊町熊川字小舘土工松本源さん（三）は平駅待合室で睡眠薬をのみ自殺を図つたが、未遂に終り、同市竹林病院に収容された。原因は平署で取調中。

一等は五千圓

旅館の館名募る

近く平市田町に最新の建築様式をとり入れた旅館が誕生することになつたが、この旅館にふさわしい呼びやすい名前で新装の旅館に合つた旅館名の懸賞募集を行うことになつた。締切は十八日（消印あるもの有効）宛先は平局区内田町十九強口ヨシ、賞金は五千円採用のもの一名（同名のもの多いときは抽せんによる）

サケマス一本つり試験

北洋の磐城丸

北洋サケ、マス漁業の中核船として活躍中の県指導船〝磐城丸〟（四百七十九・四一トン）はいま荷役を開始し母船からサケ・マスを積込んで近く東京港向け航行することになつたが、同船に乗込んだ県水試緒形技師は漁期中に全国でも初めてのサケ、マス一本釣り漁業の試験を行うことに決めた旨同水試に連絡してきた。

これはサケ、マスの漁法が流し網漁業といつて一万二千米にもおよぶ四寸目の網を流して獲るといつた方法でなくカツオの一本釣り漁業と同じように疑餌針を用いて釣り上げるといつた方法をとるもので全国でも初めての試み。

この試験操業が成功すれば流し網漁も大きな改良が行われることになるわけで各方面からその成果が注目されている。なお同船はこれと並行して海流の調査をも行い魚群の分布状況や回遊状況なども調べることになつている。

飯島通産技官ら きょう常磐地区視察

五月の交通違反六百件

浜通り各警察署と機動隊平分遣隊で行つた五月中における交通一斉取締りの結果がまとまつた。それによると総検挙数は六百三十一件事故は三十七件の多きに達している。各署別にみた検挙数は次の通り。

◆平署＝百八十四件、事故七件
◆内郷署＝十一件、事故四件◆磐城署＝七十五件、事故七件◆常磐署＝百二十件、事故十二件◆勿来署＝百十件、事故七件◆平機動隊＝百三十一件

通行人を殴る

十一日午前一時ごろ好間村北好間松坂古河炭砿運搬夫金沢正二さん（三）は平市南町地内路上で不良風の男に殴られ、竹林病院に収容されたが頭に二週間の傷を受けた。

大掃除　タンスの防虫　便所の防臭
ヤクレツトの散布で……
……今年も安眠できる　小缶￥60
平市銀座　あとう薬局　TEL 44

燃えないベニヤ板
ノザワスレート製
アスベニヤ
特約店　株式会社　大谷建材店
平市紺屋町　電三六六

肖像畫　女子習生　入用　◇年令十六・十七才の方　三名
平市五丁目　菊水画房

御礼の心を　こめた贈物
時計　鏡
眼鏡　筆
万年　輪
指輪　オ
ラジ
平市五丁目　山崎時計店　電九九一
☆時計の検査には
☆電気タイム　グラフアー使用
平指定商加盟店

トテモトテモ　数えきれない　慈善
福神漬、佃煮、罐詰、にしん、豚肉のみそ漬その他衛生的でカロリー万点の保存食を数えきれない程豊富に揃えて農家の皆様にサービスしております
○上にしん　百匁　九五円
○豚肉みそ漬　〃　一八〇円
○新進福神漬缶入　壱ダース　一五八〇円
木曜サービス細切昆布　三〇円
小名浜　平市

エンジンの長寿法公開
エンジン内部を特殊の方法で洗滌しますと十万粁以上の画期的無整備走行記録を樹立させる事も可能です
明十三日午前十時から実演会をかねて開店いたします　一度御来店の上宜しくお引立て願います
新装開店
ウオシングプラント　平代理店
平市堂の前（マツダ三輪隣）

笛の詩　93

絵と文　谷田部風太郎

絵巻の章　22

「過去を忘れるんです。すべての過去を、何一つおぼえて居たくないんです。」

「可哀忘れなくちゃあならんのかね。第一、あんな立派な絵を……。」

「船長さん狂つた羅針板を捨てたんです。新らしいのを買けるんです。」

啓介は、船長の手をふり切つて、最後の一枚を海の中へ捨てた。そのキャンバスにも、栄子の顔が描かれてあつた。タラップの横に浮んだ栄子の顔は、やはり嬉笑みを失なわなかつた。ほう。それも捨てるのかね?。わしに、そのケースを呉れんかね。中身はいらん。中身は吹けんし、君は捨てん事には気が済まんじやろう。」

捨てようとして振り上げたフリユートのケースを、啓介はもう一度おろして、中のフリユートをつかみ出した。

キラキラキラとフリユートは、白い光りを見せながら、海面に小さな波のしぶきを上げ、水の中でもう一度キラと光つて、そのまゝ深く深く沈んでいつた。

白い船のデツキを、時々撫でる様に吹く北風が、身にしみる様に冷たかつた。

ぼんやりと硝をかくしい知床半島の連山は白い一本の線の様に、雪をのせて或いは高く或いは低く空に描いて居た。

「さ、わしの室に入ろう。」

船長は、啓介の肩に大きな手をのせて、うながした。二人は船長室に入つて行つた。

室に入ると船長は、机の中をごそくさせてウイスキーの小壜を取り出した。

「過去を捨てて、新しく生れ変つた西島啓介君の将来を祝して……。」献やろう。」

船長は、壜のキャツプを啓介の鼻先に突き出した。

「船長さん。まだ一つ、捨てなければならないものがあるんです……。捨てられないんです。どうしても……。」

啓介は、船長の前に何かさし出した。

啓介の手の平の上に、小さな貝がらの一片がのつかつて居たそれは昨夜、栄子が砂浜から拾い上げて、二つにはなした片方だつた。

「ほう。貝がらじやね、それは……。」

「貝がらです。船長さん。明日ウトロへ行つたら、これを栄子さんに返えして下さい。」

「栄坊に?……。」

「そうです。」

「……。」

「そして、此の貝がらから、僕は何も知る事が出来なかつたとそう伝えて下さい。」

それから二人は、せまい船室の中で、一つのキヤツプを変るがわるやりとりしながら飲んだやがて船長は、いかゞわしい外国語で、どこかの船唄をうたい出した。老いた船長の声は、不思議な現実に対して底知れないあわれみを注ぐかの様にふるえて居た。晩秋の風に波立つオホーツクの海はやはり青かつた

（つづく）

磐城の港まつり

盛り沢山の行事決る

石城名物の一つ、小名浜の「港まつり」は今年も七月二十日「海の記念日」を中心に盛大に行われることになつた。今年の「港まつり」は三代市長を会長に、市内の会社や組合の代表者による「港まつり委員会」を組織して、行事計画をたて国際港小名浜を県内外に広く紹介しようと力を入れている。主な行事は次の通り（カツコ内は時間、場所）

▽七月二十日＝海の旬職者慰霊祭（午前九時、江名、中の作、小名港）各漁業協同組合主催、海事功労者表彰式（午前十一時小名浜漁業組合講堂）東北海運局、小名浜海上保安部主催、船員慰安（市内各港）八坂神社祭典（小名浜、江名）▽二十一日＝水泳大会（午前十時、江名プール）水産高校、江名地区小中学校住催、海上相撲（午前十時中の作港）競艇（午後一時、小名浜港）小名浜海上保安主催、花火大会（午後九時、小名浜、江名、中の作）▽二十二日＝アマチユア写真撮影大会（午前九時、小名浜海水浴場）子供演技コンクール（午前十時、小名浜海水浴場）、照明コンクール（二十日より二十三日全市）

手太鼓打ち

四倉は26日に海開き

四倉町観光協会では海開き（七月一日）を変更して、六月二十五日午前十時から仲町海岸で挙行することになつた。また、四倉海岸で水難した人達の供養を六月二十日午前十時から仲町海岸でしめやかに挙行する。

一等は文化戸棚

市川のパンクイズ

パンの店〝市川〟はパンにちなんだクイズを出した、これは謝恩サービスとして行うもので、一等の文化戸棚から十等のハンガーまで盛沢山の賞品を山と積んで投票を望んでいる。なお応募期定は市川クイズ用紙または官製ハガキで六月三十日までの消印有効、送り先は平市中央通り（本店）同三十米大通り（支店）同旧城跡（工場）となつている。

応募した用紙は七十七銀行に保管して七月六日本社などが立会つて市川本店、支店、工場でまた本社、いわき民報、三和新報の三紙で発表する。正解者多数の場合は抽せんで順位を決定、正解者なき場合は正解に近い人十人に賞品を贈る。賞品は▽一等文化戸棚▽二等片袖テーブル▽三等本箱▽四等平机▽五等腰止回転椅子▽六等並子椅子▽七等南京椅子▽八等南京中型椅子▽九等南京並型椅子▽十等ハンガー（五個一組）

クイズは次の通り

問題　①パンは世界に何年位前からありましたか②キリストはパンの製法を知つていましたか③二千年も前にパン店が二百五十軒もあつたのはどこの市ですか④市川パン店は何年何月に店を開きましたか⑤パンを初めて日本へ持つて来た人は誰でしよう⑥上杉謙信、武田信玄、織田信長、徳川家康、豊臣秀吉の中誰がパンを食べたか⑦幕末にパンの店〝市川〟はパンにちなんだクイズを出した、これは謝恩サービスとして行うもので、一等の文化戸棚から十等のハンガーまで盛沢山の賞品を山と積んで投票を望んでいる。なお応募期定は市川クイズ用紙または官製ハガキで六月三十日までの消印有効、送り先は平市中央通り（本店）同三十米大通り（支店）同旧城跡（工場）となつている。

応募した用紙は七十七銀行に保管して七月六日本社などが立会つて市川本店、支店、工場でまた本社、いわき民報、三和新報の三紙で発表する。正解者多数の場合は抽せんで順位を決定、正解者なき場合は正解に近い人十人に賞品を贈る。賞品は▽一等文化戸棚▽二等片袖テーブル▽三等本箱▽四等平机▽五等腰止回転椅子▽六等並子椅子▽七等南京椅子▽八等南京中型椅子▽九等南京並型椅子▽十等ハンガー（五個一組）

クイズは次の通り

問題　①パンは世界に何年位前からありましたか②キリストはパンの製法を知つていましたか③二千年も前にパン店が二百五十軒もあつたのはどこの市ですか④市川パン店は何年何月に店を開きましたか⑤パンを初めて日本へ持つて来た人は誰でしよう⑥上杉謙信、武田信玄、織田信長、徳川家康、豊臣秀吉の中誰がパンを食べたか⑦幕末にパンの製法を研究した有名な砲術家は誰ですか⑧ケーキ（洋菓子）で磐城五市のうち総理大臣賞を授賞した店が何軒でどこの店ですか⑨市川が食パンで無監査賞をもらつたことがありますが誰からでしよう⑩市川の製パン工場は何処にあり工場電話は何番ですか。

ラジオ古山

あぶくま山地東縁のおい立ち

柳沢氏が出版

地学の熱心な研究者として知られている柳沢一郎磐高教諭はこのほど郷土の自然発達を主眼とした「あぶくま山地東縁のおい立ち」を初出版した。

来月26日と決る

ミス浜つ子コンテスト

着姿の美人を乗せ仲町海岸審査会場まで練り歩くことになつた。

また、ミス浜つ子コンテストに応募される美人は来る七月一日から募集するが、申込み先は常磐毎日新聞社（平市田町）と四倉支局（新町額賀医院内）四倉公民館となつており、申込みには顔写真（名刺版）と住所、氏名、年令を書き多数申込むよう要望している。

今晩のラジオ

◆NHK（第一）

▽6:30 子供の時間 ▽6:55 スポーツだより ▽7:00 一丁目一番地 ▽7:15 今日の婦人 ▽7:30 録音ニュース ▽7:45 お笑い職業案内 ▽8:00 演芸会 捕物シリーズ NHK希望音楽会 ▽9:00 時の動き ▽10:00 虹の劇場

◆ラジオ福島

▽7:00 トニーの英語

草野農協の新役員決る

平市草野農業協同組合総会はこのほど開き、理事十三名、監事四名の改選を行い次の通り決めた。

◆理事＝大木七太郎、松崎正投、江尻喜三郎、松本政義、渡辺清喜、猪狩儀一、木村才夫、中島新茂、新妻五郎、作田稔、新妻忠直、片寄周平、富長健次郎◆監事芳賀友一、芳賀忠義、高岡作、新妻竹雄

懸賞当せん発表

新装記念懸賞募集にあたりましては多数ご応募下さいまして誠に有難うございました。十一日地元各新聞社代表立合のうえ抽せん会を開き左の方々を幸運の当せん者と決定いたしました

応募総数五百二十三通うち正解三百八十四通なお幸運の当せん者の方には当館から直接通知状を差上げました

（正解）　題名「梅若正二」　俳優名「赤胴鈴之助」

世界館

今晩の映画

▼平文化ニュース　十四日マデ
ニュース
マンガ
壁をぬる子供たち
たんぽぽ

▼世界館　十八日マデ
赤胴鈴之助
実演
二十九人の嘆願状

▼東映劇場　十八日マデ
さけぶ霞鳥
殺人者を逃すな

▼平館　十八日マデ
命も恋も
肉体の反抗

▼民劇　十八日マデ
象
南極大陸

▼ひかり座　十五日マデ
撃滅戦車隊三千粁
桃色大王

▼聚楽館　十三日マデ
北の狼
荒原の疾走

ナイトシヨウ

▼東映劇場　十二日マデ
砂漠の悪魔

赤胴鈴之助
永遠に答えず
録音ニュース
人情夜話
演芸甘辛亭
素人物まねコンクール
浪曲
キツコーツルアワー
明色アベック歌合戦
あなたが選んだ
今週の花形歌手
名作アルバム
石門捕物帳
時事解説
週間トピツクス

特選 冷しそば
中華料理 亜寿多
出前迅速
平市紅小路 電二四五

ナイトシヨウ
13日―15日

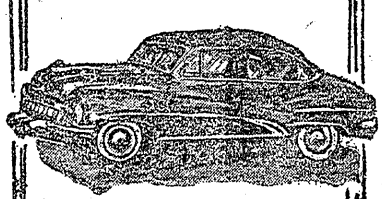
優雅、そして哀愁切々たる情熱の歌姫を巡つて繰り拡げられる恋の斗争！

火の接吻

演 ビルヒニア・ルケ
ホワン・ホセ・ミゲス
主 フエルナイド・ラーマコ

上映 10時10分　¥40

東映

貸切の御用命は
電話 640番

尼子タクシー

三馬弘進のゴム靴 谷沢丸高 TEL 649

名物 平 六段最中
世界的名曲「六段」の作曲家八橋検校は平市の生れ
名曲「六段」に因み
平駅前
六段本舗 平凡 電509

夏家具一式
▽最新型洋服タンス・ベビータンス
▽冷蔵庫・ハイ張・椅子・各種陳列
自家製造の店
指定商 加盟店
平地区福祉協指定店
電気通信共済会指定店
伊東家具店
◎募集 技術優秀な工員数名
高級待遇致します
工場 平市新川町電四六四
平市大町二九―三〇

『当せん者』

世界館

好勿　四内常下　南中田上北一北夏北旧銀四谷白研大白中八鎌田銀白
聞来〃倉郷磐平〃〃　平銀川軒治城目丁目丁跡通り町町町町町町町町町町
村市　町市市窪　町町町窪町瀬町町跡町目町土井治町町町町町町町町町
橋田愛鈴川万寺伯鈴佐新綿引方労賀孝支井高北岩鈴志大橋戸遥片寄川狩
原沢木保崎島原木藤家上橋村井木賀竹本松藤寄川
正幹勝英伸好浩道賀孝明ひろ勝敏良一清労初孝陽久美子操
久二夫子登夫己夫正行男子労支美子信正治由一男代信司
菊武小田中広茨高大塙高篠村須杉舟小国府芦田中松福坂坂真丹
田藤野方木木田墨田塚山藤本野寺田沢方本島本本田野
信美智子次　今井トミ子　貴子雄雄士弘二宮二郎子子彦義子子弘子二竹道夫一進
時政和健由和敏和武米慶寿英小好健由佐恒肩英